

## のびのびキッズについて

「大阪 ADHD を考える会ののびのびキッズ」は、配慮のいる個性豊かな子ども達の支援を広める会です。会に入会していただきたい方は、ADHD、ASD、LDなどの診断名を持つお子さんをお持ちの保護者、発達障がいの子もたちの教育や療育に関わっておられる方々、医療関係の方々、および活動にご賛同や応援をしてくださる方々です。

当会は、2000 年の 5 月に当時、関西医科大付属香里病院小児科部長だった安原昭博医師の呼びかけで作られました。はじめはまだ聴きなれなかった ADHD の特性理解と対応を目指していましたが、実際は ASD や LD を併発している子が多いです。

会開設当初は、発達障がいの情報も理解も世間的には皆無、当事者も同じでした。支援も全くない状態での暗中模索から活動は始まりました。まずは、仲間が集い、すぐに専門家と連携して、学習会や事例検討会、ペアレントトレーニング、発達障がいに関心が強い学生さん達や実践家の力を借りながら、子どもたちのソーシャルスキルトレーニングを含めたレクリエーション活動などを積み上げてきました。

こうした多くの心ある専門家の方々の協力を得ながら、それらの活動は、確実に私たち支援者(親、教育や医療関係者など)の経験値を上げることに貢献してきたと自負します。もちろん、当事者である子どもたちの成長にも。

しかしながら、子どものライフステージや成長、あるいは環境によって悩みは変わり、適切な指南役が誰にでもいるわけではありません。

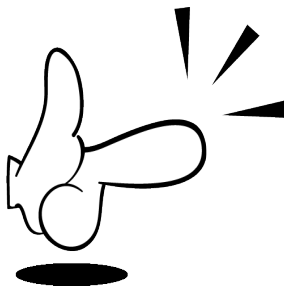
### 「支援は一生」

重い言葉ですが、それぞれの人の人生を豊かにできる言葉でもあると思っています。

なぜなら発達障がいの世界は奥深く、障がいというフィルターだけで見ては見えない風景があちこちにあるからです。

### 「変化や成長は必然の中から動き出す」

これは、長い活動の中で得た確信です。



**現在当会が続けている活動は以下の通りです。**

#### ●講演会、相談会（会場は京阪枚方市駅徒歩）

発達障がい支援に必要と思われる内容や新しいものの見方の情報発信。

#### ●事例検討会（会場は京阪香里園駅徒歩）

教育関係者、親、医療関係者、福祉施設関係者、会員非会員、障がい種別関係なく応募いただけます。

どのように理解して対応したら良いのか、

どのように連携して支援したら良いのか、

この子が幸せに生きるためにできることは何か、

今後、必要となる事は何か、など

アセスメント(WISC や KABC,他必要な検査など)

背景情報などから科学的分析を積み上げて検討会を開催します。

2019 年現在、これまで扱った事例は三桁を軽く超えています。会員非会員関係なくご参加いただけ、事例を共有します。

コメンテーターは

★安原昭博医師（会創設者であり顧問。現在 安原こどもクリニック院長。臨床経験は群を抜いて多く、個々の事例に対する医療的知見は秀逸）

★伊丹昌一教授(会創設時からの顧問。現在、梅花女子大教授。発達障がい支援マイスター。実践に基づく具体的なアドバイスにはいつも目から鱗)

●会員交流会（会場は京阪枚方市駅徒歩）

扱いにくい子どもたちを育て上げた、当会の先輩ママ達が聞き役。子育てに行き詰まっている方、情報が欲しい方、仲間が欲しい方、安心して愚痴が言いたい方、会員限定のおしゃべり会です。まるでドラマのようなエピソードが語られることもあります。否、ドラマは日常にあり。ワクワク

●ホームページ、フェイスブック、メーリングリストあり。当会の開催イベント以外の発達障がい講演会などの情報も発信

●大阪府の他の親の会とのネットワーク会に所属

\* 活動内容 \*

- ① 定例会（年5回）  
講演会、相談会
- ② 事例検討会（隔月開催）  
主に支援者を対象とした、事例に基づく学習会
- ③ その他の活動
  - ・ 会報（年2回）
  - ・ ホームページ他 SNS
  - ・ 会員交流会（年1回）
- ④ 会費（事業年度は4月～3月）
  - ・ 入会金 1000 円
  - ・ 年会費 5000 円

（10月以降の入会は2500円）

※ 活動内容により別途費用のかかる場合あり

～ 会へのお問い合わせ、入会希望は ～

大阪 ADHD を考える会

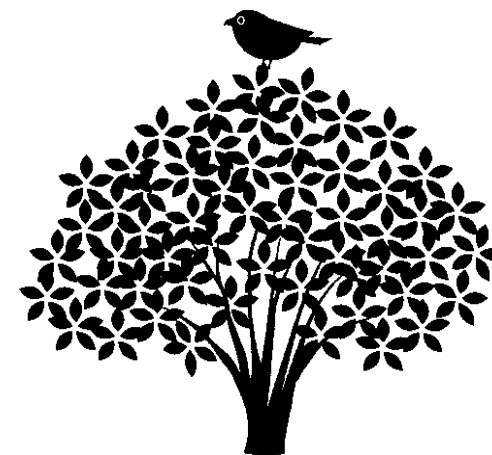
のびのびキッズ HP

「入会のご案内」よりどうぞ



大阪 ADHD を考える会

## のびのびキッズ

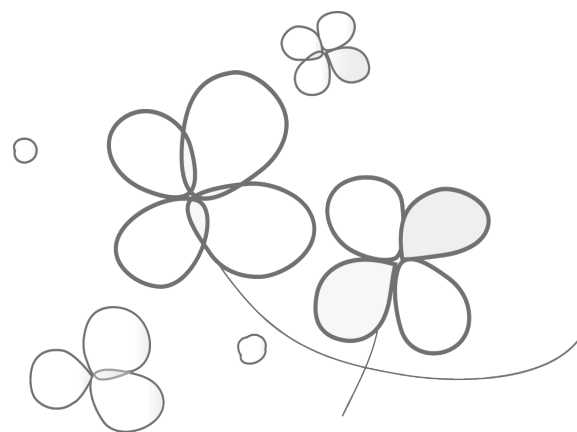


発達障がいに関する情報は溢れかえり、支援制度は整い、福祉制度を活用した療育機関を活用する方も随分増えました。それでも、発達障がい特性や、個々に応じた適切な環境調整や対応が充分なわけではありません。

当会では、開設当初から、個々の子どもの特性を見極め、その子らしく幸せに生きられるように、医療、教育、家庭の連携を大切に活動しています。

会開設当時、配慮が必要な個性豊かな子どもたちだった方の多くが、社会人として多方面で活躍しています。まだまだ独り立ちは難しくても、確実に成長している子も多いです。

のびのびキッズには、いつのまにか子育ての知恵が蓄積されています。ひょっとしたら、あなたの力になれるかもしれません。



WANPUG